

2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月13日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 新川 隆文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126  
 四半期報告書提出予定日 2018年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	10,034	1.5	△6	—	△18	—	△26	—
2017年3月期第3四半期	9,888	△2.7	358	163.4	298	148	196	56.8

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 △115百万円(—%) 2017年3月期第3四半期 △413百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	△1.71	—
2017年3月期第3四半期	14.63	12.91

(注) 2018年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	19,558	9,091	37.2
2017年3月期	19,171	7,143	28.0

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 7,281百万円 2017年3月期 5,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2018年3月期	—	0.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	1.0	500	△23.9	380	△46.0	200	△30.4	14.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 極楽湯(上海)酒店管理有限公司、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	17,922,700株	2017年3月期	15,127,400株
② 期末自己株式数	2018年3月期3Q	917,675株	2017年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	15,718,976株	2017年3月期3Q	13,447,682株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善、個人消費の持ち直しなどにより緩やかな景気の回復基調が続いております。海外経済におきましては、先進国を中心に回復基調が見られた一方で、経済や政策に関する不確実性や北朝鮮問題の緊迫化など地政学的リスクに留意する状況が続き、先行きには不透明感が広がっております。

温浴業界につきましては、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズが底堅く推移する一方、人件費の高騰や物価や物流コストの上昇、ニーズの多様化など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、日本において愛知県名古屋市に今年オープン予定の新店の開業準備、新規事業開発などに取り組むとともに、中国において既存店舗の改装、直営店及びフランチャイズ店の開業準備、新たな出店先及びフランチャイズ候補先との交渉などに取り組ましました。当第3四半期（10月～12月）における出店状況につきましては、当社グループとして初の海外フランチャイズ店となる「極楽湯 青島紅樹林館」（山東省青島市）が2017年11月にオープンし、翌12月にはフランチャイズ2号店目となる「極楽湯 川沙温泉館」（上海市）がオープンいたしました。

引き続き、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを国内外で提供すべく取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,034百万円（前年同期比1.5%増）、営業損失は6百万円（前年同期営業利益358百万円）、経常損失は18百万円（前年同期経常利益298百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は26百万円（前年同期四半期純利益196百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高8,002百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益（営業利益）222百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

当社の業績は、お盆や年末年始の休暇等の家族や人が集まる機会や天候及び気温等に影響される傾向があり季節的な変動があります。第3四半期（10月～12月）は、行楽シーズンに加えて気温も低下してくる時期であるため、夏に比べて日々の売上が増加する傾向ではありますが、大型連休がないことから大幅な売上増加は見込めない時期であります。

当第3四半期累計期間（4月～12月）につきましては、前期にリニューアルした「RAKU SPA Cafe 浜松」が通期フルで売上貢献したこと、他企業とのコラボレーションによるイベント風呂やSNSの発信強化、肉フェアなど高価格のメニューを導入し飲食に誘導するなどの施策が功を奏したことにより、前年同期に比べ売上高は微増となりました。しかしながら、原油価格上昇に伴う水道光熱費（ガス料金や電気料金）の上昇やスタッフの最低賃金上昇に伴う人件費の高騰、更新投資による修繕の実施など、諸経費全般がそれぞれ増加したことにより前年同期に比べセグメント利益（営業利益）は大きく減少しました。

#### ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高2,051百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント損失（営業損失）171百万円（前年同期セグメント利益111百万円）となりました。

中国における業績も国内と同様に季節的要因による変動があり、特に夏である第3四半期（7月～9月）は、通期で見ると売上が低調で繁忙期に向けた修繕等投資コストが発生する厳しい時期（閑散期）であります。

当第3四半期累計期間（1月～9月）につきましては、前期にオープンした「極楽湯 金銀潭温泉館」（湖北省武漢市）が通期フルで売上貢献したことに加え、フランチャイジーからの加盟金売上などにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。一方、繁忙期の高付加価値提供及び閑散期のコスト削減を目的とした付帯サービス（飲食、VIPルーム）の見直しを図るため、既存店の改修工事などを実施したことにより、短期的に休館及び一部サービスの停止をしたことが主に影響し、セグメント利益（営業利益）は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ386百万円増加し19,558百万円となりました。これは主に、新店舗建設などにより建設仮勘定が597百万円増加したこと等によるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,560百万円減少し10,466百万円となりました。これは主に、短期借入金が800百万円、未払法人税等が193百万円減少したこと等によるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加し9,091百万円となりました。これは主に、第三者割当増資による払込等により、資本金が1,021百万円、資本剰余金が1,021百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、37.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り推移しており、2017年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績は、天候やエネルギー価格など様々な要因により大きく変動する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,638,057	4,551,332
売掛金	245,485	198,389
未収入金	9,699	16,008
たな卸資産	73,707	79,636
繰延税金資産	55,739	27,766
その他	255,379	532,638
流動資産合計	5,278,069	5,405,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,933,152	9,627,048
工具、器具及び備品（純額）	759,441	717,600
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	582,866	1,180,371
有形固定資産合計	11,457,511	11,707,071
無形固定資産		
投資その他の資産	259,955	206,928
投資有価証券	29,825	30,645
長期貸付金	62,442	110,194
繰延税金資産	396,426	443,958
敷金及び保証金	898,237	946,058
その他	552,941	513,822
投資その他の資産合計	1,939,873	2,044,678
固定資産合計	13,657,340	13,958,677
繰延資産	235,983	193,578
資産合計	19,171,393	19,558,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	413,014	364,419
短期借入金	800,000	—
1年内償還予定の社債	49,000	49,000
1年内返済予定の長期借入金	1,556,580	1,470,180
未払金	883,155	653,976
未払法人税等	235,030	42,020
前受金	1,121,946	1,034,782
賞与引当金	31,540	60,490
その他	480,851	426,598
流動負債合計	5,571,119	4,101,466
固定負債		
社債	129,500	105,000
長期借入金	5,375,850	5,442,290
退職給付に係る負債	117,445	111,669
資産除去債務	464,509	469,322
その他	369,105	236,970
固定負債合計	6,456,410	6,365,252
負債合計	12,027,530	10,466,718
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,553,950	3,574,993
資本剰余金	2,514,730	3,536,235
利益剰余金	566,336	454,144
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	5,278,878	7,209,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	480
為替換算調整勘定	85,594	71,805
その他の包括利益累計額合計	85,469	72,286
新株予約権	101,212	146,283
非支配株主持分	1,678,303	1,663,504
純資産合計	7,143,863	9,091,309
負債純資産合計	19,171,393	19,558,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	9,888,632	10,034,459
売上原価	8,670,841	9,112,521
売上総利益	1,217,791	921,937
販売費及び一般管理費	858,983	928,221
営業利益又は営業損失(△)	358,808	△6,283
営業外収益		
受取利息	9,914	10,093
受取家賃	13,947	13,947
為替差益	—	15,146
デリバティブ評価益	62,525	22,518
協賛金収入	33,027	45,925
その他	61,353	37,755
営業外収益合計	180,769	145,387
営業外費用		
支払利息	78,012	66,761
為替差損	137,935	—
シンジケートローン手数料	1,000	33,000
開業費償却	16,063	41,506
その他	8,151	16,387
営業外費用合計	241,162	157,655
経常利益又は経常損失(△)	298,414	△18,552
特別利益		
新株予約権戻入益	4,392	592
投資有価証券売却益	2,000	—
特別利益合計	6,392	592
特別損失		
固定資産除却損	367	34,038
契約解約損	1,777	—
特別損失合計	2,144	34,038
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	302,662	△51,998
法人税、住民税及び事業税	148,543	70,945
法人税等調整額	△25,461	△34,993
法人税等合計	123,081	35,952
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,580	△87,950
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,196	△61,017
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	196,777	△26,932

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,580	△87,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	605
為替換算調整勘定	△592,770	△28,003
その他の包括利益合計	△592,620	△27,398
四半期包括利益	△413,039	△115,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,723	△40,116
非支配株主に係る四半期包括利益	△322,315	△75,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年8月4日に第三者割当増資による払込を受けたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ955百万円増加しました。この結果などにより、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,574百万円、資本剰余金が3,536百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,897,400	1,991,231	9,888,632	—	9,888,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	59,979	—	59,979	△59,979	—
計	7,957,380	1,991,231	9,948,612	△59,979	9,888,632
セグメント利益	379,122	111,946	491,069	△132,260	358,808

(注) 1 セグメント利益の調整額△132,260千円は、セグメント間取引消去1,785千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,046千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、2016年1月1日から2016年9月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,982,619	2,051,840	10,034,459	—	10,034,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,386	—	19,386	△19,386	—
計	8,002,006	2,051,840	10,053,846	△19,386	10,034,459
セグメント利益又は損失(△)	222,106	△171,947	50,159	△56,442	△6,283

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△56,442千円は、セグメント間取引消去80,253千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△136,695千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には、2017年1月1日から2017年9月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(海外温浴施設 (中国吉林省長春市) 及び海外温泉旅館(ホテル) (中国上海市) の出店並びに子会社設立について)

当社は、2017年11月24日及び2017年12月4日開催の取締役会において、海外温浴施設 (中国吉林省長春市) 及び海外温泉旅館(ホテル) (中国上海市) の出店並びに当該店舗の出店準備、運営を行う子会社を設立することについて決議いたしました。

(1) 海外温浴施設 (中国吉林省長春市) 及び子会社概要 (予定)

1. 店 舗 名 : 未定
2. 所 在 地 : 中国吉林省長春市高新開発区飛躍路2566号
3. 出店形態 : 直営
4. 店舗面積 : 約14,500m<sup>2</sup> (地上7階建ビル7階部分)
5. 開業予定 : 2018年12月
6. 資 本 金 : 3,000万元 (約5億700万円、1元=約16.9円)
7. 出資比率 : 極楽湯中国控股有限公司 (当社香港子会社) より100%出資予定

(2) 海外温泉旅館(ホテル) (中国上海市) 及び子会社概要 (予定)

1. 店 舗 名 : 未定
2. 所 在 地 : 中国上海市浦東新区川沙鎮新川路71号
3. 出店形態 : 直営
4. 店舗面積 : 約3,200m<sup>2</sup> (商業施設予定地の一区画)
5. 開業予定 : 2018年下期
6. 資 本 金 : 1,000万元 (約1億7,000万円、1元=約17.0円)
7. 出資比率 : 極楽湯(上海)沐浴股份有限公司 (当社孫会社) より70%出資予定  
現地パートナー企業より30%出資いただく予定